

報道関係各位

2013年9月4日

## ～ 被災地・宮城県女川町の教育施設の建設工事を当社が担う～ 「女川向学館」の寄宿舎が遂に完成

大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役・社長執行役員：熊切直美）は、復興支援の一つとして全面協力しました「女川向学館」の寄宿舎工事が、このたび2013年8月に完成いたしましたのでお知らせいたします。

### ■ 被災地への継続的支援のひとつとして、先生たちの宿舎に建設協力

女川向学館は、震災により学ぶ場所を失った子供たちのためにNPOカタリバが運営する放課後学校です。そこで働く講師やボランティアから「落ち着いて住める家が無い。」との声にお応えする寄宿舎プロジェクトのメンバーとして、建設については当社が全面協力いたしました。8月6日に寄宿舎が完成し、スタッフのみなさんが安心して働ける生活環境をご提供することができました。

当社ではこれからも継続して、被災地への支援に取り組んでまいります。



#### ● 寄宿舎建設プロジェクト

- ・ 建設資金… 一般社団法人アーカイト日露友好協会から1,500万円の寄付
- ・ 資材協力… 各メーカー・協力業者31社の協力により、資材および住宅設備機器の提供
- ・ 工事協力… 大東建託株式会社仙台支店および協力業者
- ・ 設計協力… 大東建託株式会社設計統括部

#### ● 完成物件概要

- ・ 特注平屋寄宿舎… 個室6部屋 ダイニングキッチン  
バスルーム シャワールーム 完備

### 【女川向学館を応援します】

宮城県女川町は、東日本大震災で津波により約8割の住居が倒壊しました。仮設住宅に暮らす子供たちの一つの希望が、落ち着いて学ぶ場所がほしいというものです。そこで、NPO法人カタリバが女川町役場や教育委員会と連携のもと、2011年7月に設立した無料の放課後学校が女川向学館です。ここには毎日「勉強したい」と意欲のある子供たちが集まります。そしてその意欲に応える先生たちが、全国各地からボランティアで集まっています。

女川町ではいまだに多くの子供たちが仮設住宅暮らしです。学習環境と住環境の激変が、溜まり続けた子供たちの心の負担になっています。女川町の子供たちにとって、放課後に勉強できる「女川向学館」は大切な施設であり、先生の住まいも重要な役割を担っています。

※ すでに2013年5月31日付のニュースレターにおいて、当社の復興支援活動状況や、今回の寄宿舎の着工などをお知らせしています。



新寄宿舎前での子供たちと先生

＜この件に関するお問い合わせ＞  
大東建託株式会社・経営企画室  
TEL (03)6718-9068